

平成 27 年 度

小田原市宿泊等施設事業特別会計
歳入歳出決算審査意見書

小田原市監査委員

監査第54号
平成28年1月26日

小田原市長 加藤 憲一様

小田原市監査委員 岡本重治
小田原市監査委員 井上久嘉
小田原市監査委員 鈴木紀雄

平成27年度小田原市宿泊等施設事業特別会計歳入歳出決算
審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成27年度小田原市宿泊等施設事業特別会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成27年度小田原市宿泊等施設事業特別会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 平成27年度小田原市宿泊等施設事業特別会計歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

平成27年度歳入歳出決算事項別明細書

平成27年度実質収支に関する調書

この決算において平成27年度とは平成27年4月1日から当特別会計を廃止した同年12月14日までの期間をいう。

2 審査の期間

平成28年1月7日から同年1月25日まで

3 審査の方法

平成27年度小田原市宿泊等施設事業特別会計歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、関係諸帳簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、予算の執行が適正に行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ決算計数は正確に表示されているものと認められた。また、予算の執行については、歳入歳出ともに適正に行われているものと認められた。

5 歳入歳出決算の状況

(単位:円・%)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減		
		構成比		構成比		増減率	
予算現額	273,257,000	-	318,188,000	-	44,931,000	14.1	
歳入	調定額	262,726,384	-	320,006,753	-	57,280,369	17.9
	収入済額	262,726,384	100.0	320,006,753	100.0	57,280,369	17.9
	財産収入	163,191,265	62.1	230,395,129	72.0	67,203,864	29.2
	繰越金	95,722,979	36.4	82,735,564	25.9	12,987,415	15.7
	諸収入	3,812,140	1.5	6,876,060	2.1	3,063,920	44.6
	不納欠損額	0	-	0	-	0	-
	収入未済額	0	-	0	-	0	-
	収入率	100.0	-	100.0	-	-	-
歳出	支出済額	262,726,384	100.0	224,283,774	100.0	38,442,610	17.1
	総務費	262,726,384	100.0	224,283,774	100.0	38,442,610	17.1
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	-
	翌年度繰越額	0	-	0	-	0	-
	不用額	10,530,616	-	93,904,226	-	83,373,610	88.8
	執行率	96.1	-	70.5	-	-	-
歳入歳出差引額	0	-	95,722,979	-	95,722,979	100.0	

歳入決算額は262,726千円、歳出決算額は262,726千円で、歳入歳出差引額は0円であった。また、実質収支も0円であったが、これは当特別会計廃止によるものである。

収入済額の主なものは、土地建物貸付収入162,251千円、繰越金95,722千円である。

支出済額の主なものは、一般会計繰出金238,486千円、公課費17,729千円、基金への積立金939千円である。

なお、宿泊等施設事業特別会計廃止後の当年度の歳入歳出については、一般会計において補正予算で措置されている。

6 結び

宿泊等施設事業特別会計は、小田原市が勤労者リフレッシュセンタースパウザ小田原を取得・管理していく上で、収支状況を明確にするために平成15年度に設置されたが、この度、施設を小田原ヒルトン株式会社へ売却することに伴い、平成27年12月に同会計を廃止したものである。

この施設については取得当時から社会的な関心を集めてきたが、当該事業は一般会計への

繰出金、整備基金の積立を行うなど市財政に大きく貢献したものと見える。

なお、施設売却後も市有財産として残る土地、建物及び物品等の活用や処分については、適切な管理の下で行われたい。

参考として、宿泊等施設事業に関連する主な財産の状況について記載する。

【参考】(施設売却後の財産について)

1 公有財産

区 分		単位	売却前保有高	売却による減少	現保有高
土 地	普通財産	m ²	234,538.97	231,645.00	2,893.97
建 物	普通財産	m ²	54,679.89	51,709.44	2,970.45

(注)土地建物は、引き続き宿舍として貸し付けられている。

2 物品

(1) 美術工芸品 4 1 1 点 (無償譲渡 1 3 点を除く)

(2) ピアノ 6 台

3 基金

区 分	単位	前年度末現在高	平成27年度中の増減高		現在高
			増加	減少()	
宿泊等施設整備基金	円	581,836,051	939,821	582,775,872	0

(注)平成27年12月に基金を廃止し、一般会計に全額繰り入れられている。